

萩にあしあと残そうよ

「塩原暮らしに戻りました。」

令和3年(2021)
10月15日発行
—最終33号—
発行：大塚好一



那須野が原の
夜明け。10/3

「日々の暮らし」

塩原の実家に戻ってきて三週間が過ぎました。慌てて次の仕事に就くことは避けましたので、のんびりとした日々です。九月中は緊急事態宣言下にありひっそりしていた町も、解除とともに動き始めたようではとしました。

せっかく一人暮らしで慣れた家事ですから、現在は食事の準備や食器洗いなどを手伝うようにしています。また、ランニングも継続することにしました。主に早朝ですが、朝の気温の低さに帰郷したことを実感しています。本紙は今号にて終了いたします。色々とご支援いただきありがとうございます。

「自由きままな歌日記」

茜より黄金に変わる空背負い
愛する町の朝を走りぬ
(九月二八日)

いにしへの人が
名付けた吐月峰に
横たう月の輝ける朝
(十月四日)

水音の絶えることない
湯の町を
私は走る朝霧の中
(十月一四日)

※すべてが早朝ランニングの時に着想した歌となりました。萩暮らしでも、自由きままな歌作りは、気ままなランニングとともにありました。これから、ふと思いついた五七五七七を書き留めていきます。また、創作方法について学ぶのも良いかもしれません。

「あしあとノート」

◆空っぽになった部屋◆

社員寮はワンルームでしたから、片付けもあっさり終わると思いきや、意外と荷物は増えているもの。先行して数箱発送していましたが、どうも車一台では帰れそうにありません。追加で三箱の荷造りをして発送し、一部は仕方なく処分して、何とか片付きました。物がなくなり空っぽになると、この部屋も広く感じられ、過ごした時間がいとおしく感じられるのでした。



2年5か月住んだ部屋。

◆萩から塩原への移動◆

萩暮らし最後の朝は、東萩駅前のホテルで迎えました。チェックアウト後いくつか用事を済ませ、松陰神社に道中の安全を祈願して、午前十時に出発しました。



松陰神社・松下村塾に別れを告げ、いよいよ出発。

一日目(九月二日)は、松陰神社から名神高速道路の多賀サービシアまで、運転距離五八七・五km。山陽道・名神高速などを利用し、レストイン多賀という、サービシア併設のホテルを予約しておきました。夜に少しだけ降雨がありました。



レストイン多賀
にお泊りにゃ！

二日目(二三日)は、多賀サービシアから実家まで、運転距離五八一・一km。長野道・上信越道・北関東道などを利用しました。途中、群馬県の横川サービシアで峠の釜めし(弁当)を買い求めて、両親へのおみやげにしました。



峠の釜めしといえ
ばおぎのやです。

二日間の走行距離は一一六八・六kmでした。宿泊したレストイン多賀は、滋賀県犬上郡多賀町にあります。彦根市に隣接しており、このあたりが中間点と思うと、塩原と萩とが離れていることを、あらためて感じますね。

◆那須塩原市に転入◆

二四日(金)に市役所の支所に向き、転入の手続きをしました。市役所にも知った顔がたくさんありますから、さっそく塩原支所長に手招きされ、近況を尋ねられました。やはり関心事は、私がこの後どんな職業に就くかということのようです。

また、那須塩原警察署にも足を運び、免許証の住所変更を済ませてきました。その結果、裏面の備考欄には、萩市の住所と那須塩原市の住所が印字されています。

◆日留賀岳へ草刈り登山◆

帰郷する数日前、荷物の整理をする私に入った連絡は、塩原地域の最高峰・日留賀岳（ひるがたけ・一八四九m）登山道の草刈り参加の呼びかけでした。



参加者は10人。主にクマザサを刈りました。

一年おきに実施しているで、今秋ということは承知していましたが、他のメンバーの都合で早まったとか。日留賀岳はもっとも愛する山ですから、山頂の祠に帰郷報告もできると、喜んで参加したのには言うまでもありません。

九月二五日（土）、午前六時に登山口の小山宅に集合しました。林道の終点まで軽トラックで移動し、その後山中へ。作業は順調に進み、正午前には頂に立つことができました。五月の開山祭はこの二年中止されています。来春は開催されることを祈ります。



父も参加。そっくり？

◆選挙は山口県民として◆

衆議院議員の解散総選挙に先立って、山口県では参議院議員の補欠選挙が執行されます。選挙人名簿への登録には現住所に三か月以上居住しているという条件があるため、私の場合は、一二月下旬まで那須塩原市の選挙人名簿には載りません。したがって、萩市選挙管理委員会に投票用紙等を請求して「不在者投票」を行うこととなります。

十月二四日執行の参議院山口県選挙区の補欠選挙については、一日に那須塩原市役所本庁で投票を済ませました。衆議院議員総選挙は三一日、こちらも同様に行うつもりです。ちなみに、山口県に住所はないため、仮にこの期間に山口県議会議員選挙や萩市長選挙がある場合は投票できません。選挙豆知識でした。

◆塩原八幡宮の清掃活動◆

観光ガイドボランティアの塩原温泉まちめぐり案内人の会のみなさんが、定期的に塩原八幡宮境内の清掃活動をしてくださっているので、十月四日（月）の午前、手伝に行きました。二時間ほどの作業でご覧のとおり三〇を超える袋ができました。みなさんの活動に感謝するとともに、住民の一人として今後も関わっていききたいです。



落ちている杉の葉や小枝を集めました。

◆旧青木家那須別邸◆

道の駅明治の森・黒磯の一角に保存・公開されている旧青木家那須別邸は、国の重要文化財に指定されている洋風建築物です。建てたのは長州（山口）出身の青木周蔵（子爵・外務大臣）。館内を見学したことがなかったので、このほど足を運んでみました。明治期に建築され、昭和四〇年

代まで青木家の別荘として利用されていたそうです。



サルビアの花が白亜の洋館を引き立てていました。

ドイツ貴族の生活に憧れて、那須野が原で農場経営を実践した周蔵の思いが詰まった建物なのだなあと、以前まとめた文章を思い出しながら、ゆっくりと見学しました。

◆萩物産フェアへ◆

神奈川県のJR川崎駅東口にある商業施設「川崎アゼリア」の広場で「萩物産フェア」が開催されるという情報が入ったため、初日の十月一日（金）に鉄道を利用して出かけてきました。萩焼・地酒・かまぼこ・夏みかん菓子などが出品されていました。



会場の様子。

萩の品々と再会できるという期待ももちろんありましたが、先月まで働いていた岸田商会が出店し、東京支店の人と会える絶好の機会でもあったのです。本来ならば年に一度顔を揃える会議も、コロナ禍で二年続けて中止されました。この日は、支店長と係長のお二人とお会いし、お礼を伝えることができました。萩市にある本社は遠くなりましたが、東京支店とは近くなりました。このご縁は大切にしていきたいです。



私が作った掲示物が使われています。

また、事前に連絡をしたところ、就職支援していただいた「やまぐち暮らし東京支援センター」の人が足を運んでくださり、情報交換することができました。あらためて、多くの人にお世話になって、私の萩暮らしがあつたことに感謝した一日となりました。